

第 44 回会合

7 月 13 日 CVV 定例会議事要旨

日時：2022 年 7 月 13 日(水) 午後 5 時半から

場所：(一社) 近畿建設協会会議室

参加者 (順不同・敬称略)：22 名 (会員・会友 リモート参加を含む)

古田・川谷・夏秋・野坂・清水・祝・鈴木・南荘・吉岡・田中・石原・武・今岡・下土居・荒武・栗田・大井・福岡・齋木・塩野谷・神吉・黒山

オブザーバー参加：地盤工学会関西支部 松永氏、末宗氏、小瀬川氏

<配布資料>

- ① 5 月 11 日定例会議事要旨 (黒山)
- ② 地盤工学会関西支部第 13 回若手セミナー (案)
- ③ 地盤工学会関西支部第 12 回若手セミナー報告
- ④ 2022 年度いきいき活動対象校 3 校との打合せ議事要旨 (鈴木)
- ⑤ 技術継承の取り組み (吉岡)
- ⑥ 土木遺産幹事打合せ議事録・前畑氏との打合せ (南荘)
- ⑦ 本年秋の土木遺産見学会案 (栗田)
- ⑧ 土木学会全国大会土木構造物記録映画上映会企画案 (南荘)
- ⑨ 土木構造物記録映画上映会ポスター案 (南荘)
- ⑩ 橋梁視察案 2022 年度 (武)
- ⑪ 会計幹事からのお願い (石原)

<主な議事>

古田代表が挨拶されたのち、黒山が資料確認した。次に前回議事内容 (資料①) を川谷幹事長が確認し、補足説明された。その後の主な議事は以下のとおり。

1. 地盤工学会関西支部からの要請と報告 (地盤工学会幹事 資料②、③)
 - 地盤工学会関西支部松永氏から資料②に基づいて今年度の若手セミナー開催概要が説明された。なお、CVV 担当者 (今岡、清水) とは個別に調整されている。
2. 2022 年度いきいき活動対象校との打ち合わせ結果 (鈴木 資料④)
 - 資料④に基づき、今年度実施の三校との調整結果が報告された。
 - CVV 側のメンバーは確定しているのか。(川谷)
 - 担当の 3 名 (鈴木、祝、石原) の他、各回 2 名ずつ参加をお願いしたい。(鈴木)
 - 7 月 30 日は南荘・野坂、8 月 20 日は下土居・吉岡が担当することとなった。12 月 24 日は後日決定。
3. 技術継承に向けた取り組み (吉岡 資料⑤)
 - 資料⑤に基づいて表記の取り組み内容を報告した。(吉岡)
 - 純技術的な内容を説明するより経験で得た知恵を紹介した方が若手からの反応がよいと感じた。若手との接点の確保が重要なので地盤工学会若手セミナーは貴重。講演内容も「地盤」に拘る必要はないように思う。(南荘)
 - 13 編原稿が集まっているので西宮市にその内容を紹介してみたい。(夏秋)
 - 若手から声がかからない原因をよく考えたい。特定の団体と「宴席」も含めて本音で相談した

い。関西支部シビルアカデミーは若手との協議・議論を目指している。世代ギャップは大きい
が本音で議論・協議できるメンバー、団体を見つきたい。(古田)

➤ 本日講演者の原口氏を中心とするメンバーとの交流を企画してみたい。(黒山)

4. 土木遺産見学会について(栗田、南荘 資料⑥、⑦)

➤ 前畑氏と交流した際の議事録の紹介があり、彼女を招いての土木遺産の見学会を予定している
ことが報告された。(資料⑥ 南荘)

➤ 資料⑦に基づいて本年秋の見学会の企画案の紹介があった。視察箇所の制約で平日開催となる。
昼食場所と移動時間短縮が検討課題。(栗田)

5. 土木学会全国大会土木構造物記録映画上映会について(南荘 資料⑧、⑨)

➤ 資料⑧、⑨を基に、土木学会全国大会時に開催する土木映像の企画案を説明された。(南荘)

➤ 機器準備は関西支部で段取りする。当日は6名で対応予定。

6. 大和川に架かる橋梁調査について(武、野坂 資料⑩)

➤ 資料⑩に基づいて、本年度の橋梁視察案を紹介された。神戸の土木遺産の見学会との日程調整
が必要。10月1日(土)を第一候補(予備22日)とする。(武、野坂)

7. その他

➤ 会計担当の変更に伴ううちょ銀行口座名義処理や学会関西支部への事務処理に関して、報告
と依頼があった。関連して会則の変更案が承認された。(石原 資料⑪)

➤ 過年度から神戸市「土木の学校」で実施していた橋梁模型コンテストについて、今年度以降本
四高速が主催者となることが川谷幹事長から報告された。

➤ 土木遺産の関連書籍(阪神高速OB坂下氏著書)が紹介された。(南荘)

➤ 総会時に提案した幹事の交代が報告された。(川谷)

➤ 近畿地域づくりセンター大井健一郎氏の入会が承認された。

➤ 次回は9月22日(木)17時半から開催する。